

コード	304010303
記入日	H25.6.4

課コード	112
課名	こども課
課長名	荒木 宣貴
担当者	野中 絵理子

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	延長保育補助事業
----------	----------

事業種類	単年度繰返事業
事業期間	平成 17 年度 ~ 平成 - 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	3	政策名称	誰もが安心できる保健・医療・福祉の充実	款コード	3
施策コード	304	施策名称	ふれあい、支えあい、助けあい、みんなで育てよう未来の宝	項コード	2
基本事業コード	30401	基本事業名称	地域における子育ての支援	目コード	1
事務事業コード	3040103	事務事業名称	民間保育所運営費補助事業費	細目コード	256
関連計画	次世代育成支援地域行動計画		法令・条例規則等	新上五島町民間保育所運営費補助金交付要綱	

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 民間保育園		(対象指標1) 実施保育園数	6 箇所			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
*****	・延長保育実施している保育園（桐保育園、青葉保育園、白菊保育園、歓喜園、つぼみ幼児園、福見保育園）に対して補助を行った。 →補助金額（1園あたり：4,853,000円）	***** 実施保育園数	6箇所	100%	実施保育園数÷ 申請保育園数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	申請が上がったら全保育園に補助を交付した。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
	・保護者の就労形態の多様化に対応するため、午前7時から午後6時30分まで保育を行う。	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		***** 平均利用者数	31人	100%	利用者数÷ 申請者数	***** 平成24年度
		① (達成率分析)	延長保育が必要な世帯は利用している。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度		25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画
活動指標	① 箇所	43	43	37	6	6					
	②										
成果指標	① 人	223	223	192	31	31					
	②										
総事業費 C (A+B)	千円	211,020	211,020	181,902	29,118	29,118					
直接事業費 A	千円	211,020	211,020	181,902	29,118	29,118					
人件費 B	千円										
内訳	従事職員数	人									
	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
Cの財源内訳	国補助金	千円	122,124	122,124	102,712	19,412	19,412				
	県補助金	千円									
	起債	千円									
	その他	千円									
一般財源	千円	88,896	88,896	79,190	9,706	9,706					

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1 次 評 価	妥 当 生	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理 由	保護者のニーズが高く、就労している保護者の子育て支援として多に必要である。
	有 効 性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理 由	延長保育を必要としている保護者に対応できている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理 由	延長保育を延ばすことで利便性が向上する余地はある。
	効 率 性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理 由	保護者のニーズに応えている。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理 由	最小限の経費で事業を実施しているため、代えられない。	

改善 (ACTION)

1 次 評 価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	延長保育に対する受益者負担はまだ実施されておらず検討中である。
	今後、課題に向けた改善策	延長時間と利用者負担の検討を行う。

2 次 評 価	保護者の就労形態の多様化に対しそのニーズに対応できているが、延長に対する経費は受益者負担が原則であるが、前回の指摘と同様にその検討結果、方針が示されていない。利用者の状況、他の自治体の状況など把握してから適正に判断すること。
------------------	--

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業 の方向性	1次	2次	3次	このまま事業を継続	1次	2次	3次	類似事業と整理統合		
	●	●			事業内容を見直して事業を継続					事業の休止
					事業費を見直して事業を継続					事業の廃止

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。